



夢が丘

北小だより「夢が丘」
令和6年11月27日
NO.4
上田市立丸子北小学校
学校自己評価委員会

全国学力・学習状況調査の結果から

4月に6年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。本校は、国語は全国平均をやや上回り、算数は全国平均をやや下回る結果となりました。

国語では、「知識及び技能」にかかわる内容は正答率が高く、「思考力・判断力・表現力」にかかわる内容は正答率が低かったです。知識や技能はあっても、それを活用する力が低いので、授業の中で考えたり表現したりする場面を多くしていく必要があると思いました。

「読むこと」の領域の正答率は高く、授業で読んで考える学習とともに、毎朝の読書などが成果となっていると思われます。今年度から家庭学習で音読や読解問題を始め、今後も継続していきたいと思います。

「書くこと」の領域や記述式で回答する問題は全国平均と同じでした。物語の感想を書く問題は、全国平均より9ポイント高かったです。目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き方を工夫する問題は、8ポイント低かったです。事実と意見、感想を区別するなど、理論的に文章を分析し、表現することを意識させていきたいです。

「数と計算」「図形」については、10ポイント近く低かったです。数と計算では「問題場面の数量関係を捉え、式に表すことができる(-14.8%)」「 $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く(-15.1%)」の正答率が低かったです。前者では、問題の意味を理解せず、「少ない」という言葉で引き算の式を選んでいる傾向があると思われます。後者では、必要な条件を満たさずに回答したり、無回答だったりした児童が多かったと思われます。数量関係の意味を捉え、式や図で説明できる力をつけていきたいです。図形では「直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く(-9.2%)」で、「 22×22 」との回答が20%あり、体積の公式を忘れていないかと考えられます。また、無回答が16.4%と一番高かったことから、立方体に円が入っていたことで、一辺を見つけて出せなかった児童も多かったと考えられます。授業では具体物で確認すると共に、様々な見方・考え方ができるような応用問題にも取り組ませていきたいです。

今年度は、基礎基本の内容を扱った問題傾向でしたが、問題の意図を読み取り、必要な条件を満たす回答を求められる問題が多かったです。問題の解き方を言語化することや一問一答だけでなく、2段階で考えるなど知識を活用する力をつけられるように、低学年から意識して取り組んでいきたいです。



学校行事や学習の紹介

たくさん学んだ修学旅行

6年生が東京方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は、国会議事堂、東京タワー、キッザニアなどを見学しました。2日目は、東京ディズニーランド、国立科学博物館などを見学しました。

全員が参加でき、2日間とも元気に過ごすことができました。五感を使って、たくさんのことを学ぶことができた修学旅行となりました。



地域の方に感謝する会

日頃から支えていただいている地域の方に感謝の気持ちをお伝えしようと、「地域の方に感謝する会」を行いました。

学校の活動は、多くの地域の方のお支えのおかげで、行うことができます。登下校の際は、多くの方が児童のために交差点や道路で見守りの活動やあいさつをしてくださっています。学習では、読み聞かせや学習のボランティアに来ていただいています。

当日は、代表の学年から感謝の気持ちを込めて歌の発表をしました。また、全校での合奏を披露しました。ご来校いただいた皆様からは、「感動したよ。」「元気をもらったよ。」などのうれしいご感想をいただきました。

地域の皆様には、今後も児童のためにご支援をよろしくお願いいたします。



フリースタイルプロジェクト(探究の時間)

本年度から始まったフリースタイルプロジェクト(探究の時間)では、3年生以上の児童が自分の好きなことや興味があることをとことん探究しようと取り組んでいます。



お料理に取り組んでいる児童や、小説を書いている児童や、バスケットボールのドリブルに取り組んでいる児童

など、一人ひとりテーマがちがいます。また、探究を進める場所も異なり、探究する方法も自分で考えて決めています。

今後さらに探究が深まっていくのが楽しみです。

